

ISFJ *Inter-university Seminar for the Future of Japan*

ISFJ2018 中間カンファレンス 活動報告書

文責：津川 紘輝

【日時】

2018年8月4日（土）

【会場】

明治大学駿河台キャンパスリバティタワー

【概要】

12月に開催される政策フォーラムに向けた論文作成に取り組む初段階の企画として行われました。本企画は、参加者の皆様が研究期間として利用されるであろう夏季休暇の時間をより有効に活用することの出来るよう、論文のテーマ・方向性を修正・決定することを目的として開催いたしました。その際、有識者の方々から専門的な知識をもとにご講評をいただくことによって、新たな課題・問題点を発見し、より具体的で現実的な政策立案方針を考える場としてイベントを提供いたしました。

【企画内容】

ISFJ2018 中間カンファレンスは、上記の企画趣旨に示したように、有識者の方にご講評を頂くことによって、1年間の論文執筆の方向性を決める役割を担うイベントです。このため、本企画では参加者の皆様に発表を行っていただき、その発表を基にして考察、修正をしていく形となります。各研究15分程度の発表時間の中で、現状分析・先行研究・問題提起の3点をプレゼンテーション形式で参加者に発表していただき、その発表を受け質疑応答を行いました。その後、参加者の皆様が正しい方向性で論文執筆が進められるよう、コメンテーターの皆様に助言をして頂く時間を10分ほど取りました。最後に、各チーム意見シートを交換し、コメンテーターの皆様から総評をいただきました。

【責任者総評】

本イベントでは、各研究班の初期段階となる現状のアイデア・発表を行って頂きました。そのため参加者様にとっては研究の方法や政策の方向性について不明瞭な点や、政策立案を考えるにあたって迷っていた問題点などの発見、またその発見から研究活動の軌道修正を試みる機会となった様です。中には既にデータなども取得をしており、既に研究の方向性が固まりつつある研究班も見られました。また、研究が既に進められている研究班におきましても、コメンテーター様のご教示によって理解を深められた事と感じております。今後の、特に夏期間の研究に向け、充実したイベントであったと感じております。引き続き、運営委員一同、より有意義な研究活動の場を提供し、参加者の皆様がより良い政策提言を達成することができますようサポートして参ります。